

広報誌連続ドラマ

Uターンは突然に

パート2

今月から「Uターンは突然に」が再スタートします。様々な町の制度を隔月でわかりやすく紹介していきます。パート2もどうぞお楽しみに！

第一話「危険な家から身を守る」

七月のある日。いつものコンビニにて――

えっちゃん(以下エ)：モモちゃん。教えて、近所に十年以上だれも住んでない空き家があるんやけど、最近壊れかけてきとるんさ。

モモちゃん(以下モ)：それは心配やな、放っておくと危険な感じ？その空き家って誰のもの分かるん？

エ：それがさ…まあ誰も帰ってこやへんし、親戚もないし、誰に言ったらええか分からんもんで、近所の人も困るとるんさ。

モ：それやと、「特定空家」に認定されるかもしれんで、区長さんに相談して役場の環境生活課に問い合わせしてみるといいよ。

エ：特定空家？なんやなそれは…？

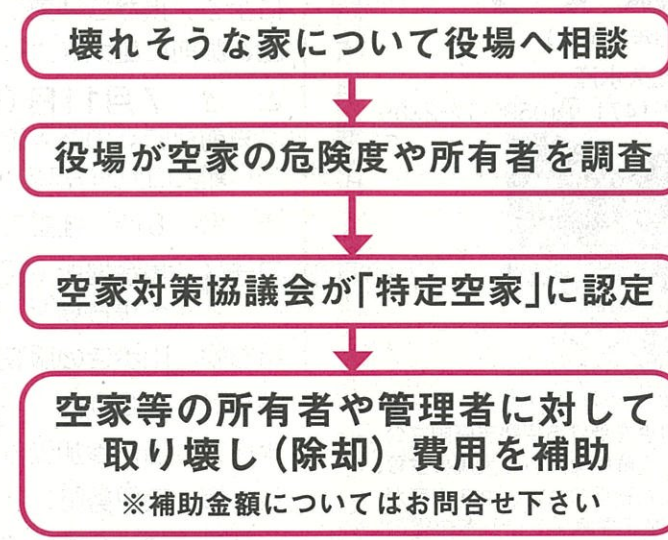
モ：「特定空家除却補助金」を説明するわな。

登場人物紹介



壊れそうな空き家の取り壊し(除却)について

南伊勢町特定空家等除却補助金制度… 危険な空家等を除却することで安全安心で住みよい環境づくりを行います



所有者が不明な空き家も、環境生活課に相談してな！



お問合せ先 環境生活課 電話：0599-66-1154

エ：そんな制度があるんやな。区長さんにも相談して、やってもらえるか聞いてみるわ。

それから数日後…

鋼志(以下鋼)：モモちゃん、お母さんが空き家の事を聞いてもらって喜んでったよ。役場で家の所有者を探してもらって、取り壊しに向けて話をしとるんやと。

モ：順調にいくとええなあ。町内には空き家が1700軒以上もあるんさ。管理しとる人がおる時はええけど、放っておくと危険なものになってくだけやなあ。

鋼：家って誰も住まへんと朽ちるの早いっていうしな。そんなに空き家があるんや…

モ：そうなんさ。まだまだ使える家も多いやろし、活用できるといいんやけど。

鋼：うちの家もだいぶ古いけど、僕も帰ってきたし、修繕しながら使っていきたいんさ。けど、一つ心配なことがあって。

モ：うん、どうしたん？

鋼：築50年やもんで、耐震が不安なんさ。

モ：鋼志くん、地震に備えて耐震補強するための補助事業っていうのがあるんやよ。鋼志くんとは築50年で2階建てやんな？耐震診断を無料でしてもらえよ。

耐震診断の結果で、補強するための設計補助

や工事補助、リフォーム工事の補助もあるよ。

鋼：そんなあるんや！知らんだわあ。

モ：細かい補助金額とかは、役場の防災安全課に相談してな。

鋼：いつペン聞いてみるわ。こっちに帰ってきてからずつと気になつとったんさ。

耐震補強するための補助事業があるよ！

うちの実家を地震にも強い家にしてリフォームしたい！

地震から自分の命、家族、財産を守りましょう

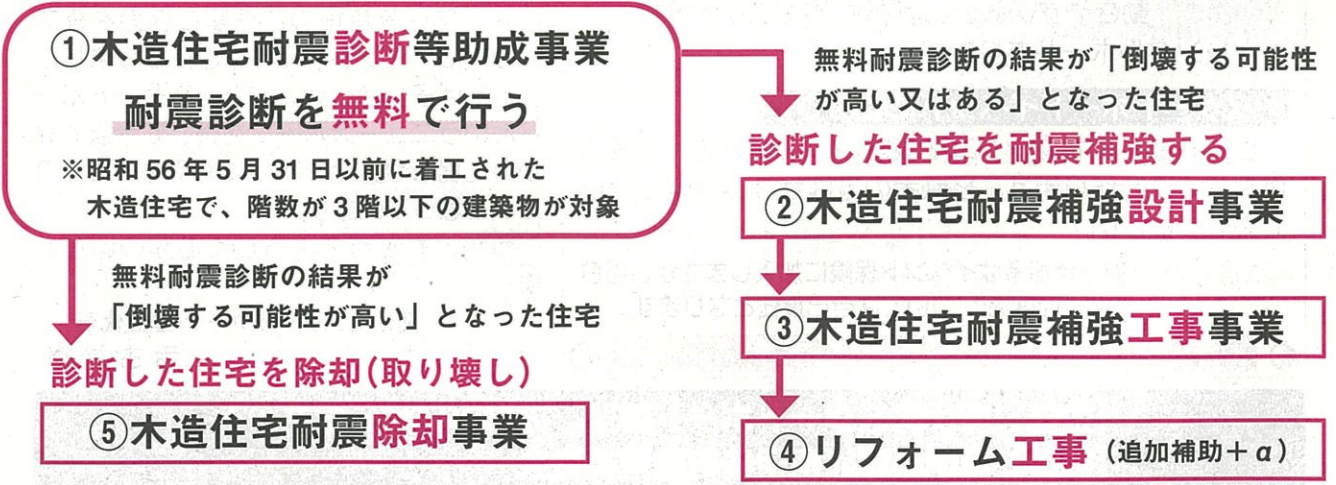
モ：あと、道路等に面するブロック塀を取り壊すための補助金もあるし、家具の転倒防止の固定器具も無料で取り付けてくれるよ。

鋼：うちにも固定されてない食器棚あるわ。ありがと。早速、問い合わせしてみる！

モ：うん、鋼志くんも家のことを考えるようになったとは…なんだか感慨深いなあ。

第二話へつづく

地震災害対策の為の補強工事・除却について



※②③④⑤の補助金額についてはお問合せ下さい

お問合せ先 防災安全課 電話：0599-66-1704

制作/むすび目 Co-working イラスト/水産農林課 植村